授　業 科目名	【Ｇ】　社会科・公民科指導法Ⅱ 【Ｈ】　社会科指導法Ⅱ	区　　分	開講年次	【Ｇ】3 【Ｈ】3	単位数	【Ｇ】2 【Ｈ】2
科目区分	教科及び教科の指導法に関する科目					
授業形態	対面授業					
担当形態	単　独	【Ｇ】　教員の免許状取得のための必修科目（中一種免社会）、選択科目（高一種免公民） 【Ｈ】　教員の免許状取得のための必修科目（中一種免社会）、選択科目（高一種免公民）				
施行規則に定める科目区分又は事項等		各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）				
サブ タイトル	社会科教員になるか、社会科教師になれるか		担当者	後藤　雅彦		

授業概要	【概要】	【実務（中学学校教諭）経験を活かした授業】 中学校における教育経験をもとに、学校現場で求められる基礎的な実践的指導力の育成を図る。 【概要】 将来、「現場で通用する」授業力を身に付けるため、模擬授業を授業の中心に据え、実際的に取り組む。また、その授業検討会を経て、完成学習指導案を作成する。自ら問題解決型授業を構想し、実践することを通して、「社会科教員になるか、社会科教師になれるか」に対し、一つの結論を獲得する。
	【到達目標】	〇「社会科」学習内容のどの分野においても、問題解決型授業づくりのヒントを探し、構想する力を身に付けることができる。 〇生徒の実態と将来を見据えながら、問題解決型授業を展開するための教材研究を進める力を身に付けることができる。 〇自ら模擬授業を実践し、その授業検討を経て、考察修正の跡を学習指導案に書き込む力を身に付けることができる。 〇「社会科教員になるか、社会科教師になれるか」その実現に踏み出す意欲と態度を備えている。
履修条件	社会科・公民科指導法入門（2023年度生までは社会科・公民科指導法Ⅰ）と社会科指導法Ⅰ（2023年度生までは社会科・公民科指導法Ⅲ）を履修済みの者。	

アクティブラーニングの方法								
	【－】	事前学習型	【－】	反転授業	【〇】	調査学習	【－】	フィールドワーク
	【－】	双方向アンケート	【〇】	グループワーク	【〇】	対話・議論型授業	【－】	ロールプレイ
	【－】	プレゼンテーション	【〇】	模擬授業	【－】	PBL	【－】	その他

ディプロマ・ポリシーとの関連性		
	DP（ディプロマ・ポリシー）①	－　（当てはまらない）
	DP（ディプロマ・ポリシー）②	－　（当てはまらない）
	DP（ディプロマ・ポリシー）③	◎　（よく当てはまる）
	DP（ディプロマ・ポリシー）④	－　（当てはまらない）

他科目との関連性	2024年度以降入学者以降は「社会科指導法Ⅱ」。2023年度以前入学者は「社会科・公民科指導法Ⅱ」の名称となる。 社会科・公民科指導法入門（2023年度生までは社会科・公民科指導法Ⅰ）と社会科指導法Ⅰ2023年度生までは社会科・公民科指導法Ⅲ）を履修済みの者。
教科書	『新しい社会　地理［令和3年度］』東京書籍(中学校社会科用　文部科学省検定済教科書)、『新しい社会　歴史［令和3年度］』東京書籍(中学校社会科用　文部科学省検定済教科書）。※どれも中古本でもよい。
参考書	文部科学省『中学校学習指導要領(平成29年告示)解説　社会編』　、文部科学省『高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説　公民編』 田部俊充・田尻信壹・小松伸之『大学生のための中等社会科・地理歴史科・公民科概論』風間書房 原田智仁『社会科教育のルネサンスー実践知を求めてー』保育出版社
評価方法	授業や演習への参加態度(30%)、課題(模擬授業含む)への取組内容(30%)、学習指導案提出(40%)を総合して評価する。
フィードバック方法	毎時間の「復習シート」、課題取組へのコメント
評価基準	授業内容について、よく理解しており、応用力もある者には、その程度に応じて「S」または「A」とする。さらに授業内容の理解の程度に応じて、概ね理解しているを「B」、最低限の基礎力を備えているを「C」とし、以上「S」から「C」までを「合格」とする。 授業内容について、基礎力が不足しているを「D」、基礎力が著しく不足しているを「E」とし、「D」「E」を「不合格」とする。 なお、欠席超過や試験欠席等は「F」とし、「評価不能」とする。

授　業 科目名	【Ｇ】　社会科・公民科指導法Ⅱ 【Ｈ】　社会科指導法Ⅱ	区　　分	開講年次	【Ｇ】3 【Ｈ】3	単位数	【Ｇ】2 【Ｈ】2

授業回数	授業内容	
1	イントロダクション－50分間の授業イメージ－	
	予習：　90分を目安に、「暗記科目」を壊す授業イメージを考える。	復習：　90分を目安に、めざす授業イメージを整理する。
2	社会科の求められる授業展開－問題解決型授業のポイント－	
	予習：　90分を目安に、めざす授業展開を考える。	復習：　90分を目安に、授業者として何が大事になるかをまとめる。
3	社会科の教材研究－模擬授業の準備①　導入準備－	
	予習：　90分を目安に、単元内容の復習をする。	復習：　90分を目安に、導入画像の選定をする。
4	社会科の教材研究－模擬授業の準備②　展開構想－	
	予習：　90分を目安に、学習活動を構想する。	復習：　90分を目安に、学習活動を準備する。
5	社会科の教材研究－模擬授業の準備③　展開準備－	
	予習：　90分を目安に、学習活動を準備する。	復習：　90分を目安に、学習活動の準備を完成させる。
6	社会科の教材研究－模擬授業の準備④　全体まとめ－	
	予習：　90分を目安に、授業の流れを確認する。	復習：　90分を目安に、学習指導案の修正をする。
7	社会科の模擬授業－「世界の諸地域」①　ヨーロッパ州他－	
	予習：　90分を目安に、学習指導案の修正をする。	復習：　90分を目安に、学習指導案の修正完成させる。
8	社会科の模擬授業－「世界の諸地域」②　北アメリカ州他－	
	予習：　90分を目安に、学習指導案の修正をする。	復習：　90分を目安に、学習指導案の修正完成させる。
9	社会科の模擬授業－「日本の諸地域」①　九州地方他－	
	予習：　90分を目安に、学習指導案の修正をする。	復習：　90分を目安に、学習指導案の修正完成させる。
10	社会科の模擬授業－「日本の諸地域」②　中部地方他－	
	予習：　90分を目安に、学習指導案の修正をする。	復習：　90分を目安に、学習指導案の修正完成させる。
11	社会科の模擬授業－「日本の歴史　古代」－	
	予習：　90分を目安に、学習指導案の修正をする。	復習：　90分を目安に、学習指導案の修正完成させる。
12	社会科の模擬授業－「日本の歴史　中世」－	
	予習：　90分を目安に、学習指導案の修正をする。	復習：　90分を目安に、学習指導案の修正完成させる。
13	社会科の模擬授業－「日本の歴史　近世」－	
	予習：　90分を目安に、学習指導案の修正をする。	復習：　90分を目安に、学習指導案の修正完成させる。
14	社会科の模擬授業－「日本の歴史　近現代」－	
	予習：　90分を目安に、学習指導案の修正をする。	復習：　90分を目安に、学習指導案の修正完成させる。
15	社会科の模擬授業－「日本の歴史　近現代」/まとめ－	
	予習：　90分を目安に、完成学習指導案を提出できるように準備する。	復習：　90分を目安に、将来の社会科教師への在り方をまとめる。
その他	全体履修人数に応じ模擬授業時間を確保したいため、必要に応じ多少の内容修正をする場合がある。また、常にポートフォリオ形式で授業資料等を分類整理する。	